

池川小学校児童らが 川嶋山神社を清掃

十二月二日、全国青少年健全育成強調月間に合わせ、青少年健全育成協議会池川支部の主催で百川内地区にある、川嶋山神社の清掃が行われました。

この取り組みは、子どもたちの「郷土を愛する心」「働く意欲」「思いやりの心」をはぐくむことを目的に毎年実施されているもので、過疎により清掃管理が大変になっている地区の建造物の清掃をお手伝いしています。

今回は神祭を前にした川嶋山神社の清掃に、池川小学校児童と池川自然学園生、池川支部委員ら総勢十六人が参加し、大野・百川内地区の方々と一緒に境内の掃き掃除や、ふき掃除に汗を流しました。

子どもたちの頑張りもあり一時間半足らずで清掃も済み、その後は地元の方々が用意してくれた芋煮と焼き芋で

地元の方々との交流も

交流を行いました。

地元の方々は「ここへこんなに子どもたちが来てくれることは近ごろなかったうえに、手伝ってもらえてうれし」と満足そうな様子でした。子どもたちも地元の方々に喜んでもらい、力になったことが実感できた良い一日となりました。



地区の方々と一緒に汗を流しました

明るい社会を築いていこう！

12月4日から10日の人権啓発週間の行事として、12月7日、大崎小学校による鼓笛パレードが仁淀川森林組合前から中央公民館までの間で行われました。

この日は小雨がぱらつき、大変寒い中でのパレードとなりましたが、人権擁護委員を先頭に、児童たちは元気いっぱいに演奏し、偏見や差別のない明るい社会を築いていこうと人権啓発を行いました。



大崎商店街パレード

国内の宇宙電波研究者が 吾川木星電波観測所で研究会

十二月一日、二日、吾川木星電波観測所（しもの郷）で、文部科学省科学研事業の木星電波に関する研究会が行われました。

出席者は、国立天文台の河野宣之博士（宇宙測地学）はじめ、鹿島宇宙技術センター、福井工業大学、東北大学、高知工科大学、高知高専から木星などの宇宙電波に関する研究をしている理学博士ら十一人。

このほど完

2日間にわたって熱心な研究



参加者たちからは「吾川観測所の立地条件が素晴らしい。これからの観測成果が楽しみだ」「中津溪谷の岩山に驚いた。自然に恵まれた良い所」などの感想が聞かれました。

アルミ缶回収で車いす寄贈

仁淀中学校が、第八回（二〇〇七年度）環境美化優良校等表彰（主催：社団法人食品容器環境美化協会）のリサイクル活動部門の優良校に選ばれ表彰されました。

同校では、平成十年から全校生徒により、アルミ缶の回収に取り組み、それを車いすに交換し、地域の福祉施設に寄贈する活動を続けています。（十ページに関連記事）この活動が飲料空き容器のリサイクルの実践、また地域の環境美化の啓発に大きく寄与していると認められたものです。



全校生徒が喜びいっぱい
の受賞

十二月十一日、社団法人食品容器環境美化協会の方が同校を訪れ、全校集会の場で生徒会の代表に表彰状と副賞を贈りました。

生徒会の代表は「表彰を受け、とてもうれしい。これからもこの活動を続けていきたい」と話していました。

また生徒集会では、去る十一月二十九日に高知県教育委員会委員長より、同校が教育研究実践表彰を受賞したことの報告が品原信介校長からありました。

全校生徒の学習に対する態度、あいさつなどの生活態度の良さ、またアルミ缶回収やあいさつ運動、地域の清掃などを続けている生徒会の活動に対して贈られたものです。

品原校長は「表彰はみんなの努力のおかげ。さらによい学校にしていきたいと思います」と呼び掛けていました。

地域教育便り

12月4日、中央公民館で第2回地域教育推進協議会を開催しました。

今年度の協議会の役割は、主に各学校の「開かれた学校づくり推進委員会」を支援する立場での活動です。その一つとして、運動会および体育祭や学習発表会の情報を伝え合い、青少年健全育成協議会主催の「中学の主張」には協賛という形で参加させてもらいました。

第2回の会を開くに当たり、役員での打ち合わせ会をもち、発表の内容を検討し合いました。そして、開かれた学校づくりとして計画した行事、学校行事として参加した地域行事、その他アピールしたいことなどをまとめていろいろ情報交換ができる場にしようということになりました。

当日は、各学校の取り組みを発表してもらい、参加者全員で協議を行いました。学校からは、細かな内容まで分かりやすく説明があり、参加者

学校・家庭・地域連携のもとに

からは「興味がある内容なのでもっと詳しく聞きたい」という意見が出たり、実践事例に即したいろいろな情報や感想などが次々に飛び出したりして、充実した話し合いとなりました。

活動計画を立てる際には、常に「子どもたちを中心にした活動」ということを一番に考え、その中で一人一人が豊かな体験や経験を積み重ねられる機会を設けていくことや地域の方々とも積極的に情報交換を行い、お互いに協力し合って、子ども達の成長につなげていくことの大切さを参加者で再確認しました。

学校・家庭・地域の連携があるからこそ、小規模校でありながらも周りの人たちに見守られている安心感から、子どもたちも元気に明るく育っていくのではないだろうかと共通理解した会となりました。

>>> スポーツ <<<

仁淀スポーツクラブ冬季バドミントン大会

11月28日、長者小学校体育館に5チームが参加。

- 優 勝 岡崎潤二・桂由伊チーム
- 準優勝 崎田和幸・西森なゆみチーム
- 第3位 高橋慎也・西森弘和チーム

仁淀スポーツクラブ第26回川渡フニガ淵杯ゲートボール大会

12月2日、川渡ゲートボール場に6チームが参加。

- 優 勝 アタゴ山チーム
- 準優勝 沢渡チーム
- 第3位 マル山チーム

地域の相談役

民生委員・児童委員が改選

十二月一日、民生委員・児童委員と主任児童委員の改選が行なわれました。新任・再任を合わせた五十五人の皆さんが新たに厚生労働大臣および高知県知事から委嘱され、その委嘱状伝達式が十二月三日、池川コミュニティセンターで行われました。

伝達式では、厚生労働大臣からの委嘱状を藤崎富士登町長が、県知事からの委嘱状を戸梶幸雄中央西福祉保健所長が、委員一人一人に手渡しました。

また十一月三十日で退任された委員十八人への感謝状伝達式も行われ、藤崎町長、戸梶所長から厚生労働大臣感謝状などが手渡されました。

民生委員・児童委員は、地域の皆さんの相談役として、生活上で困ったことなど身近な相談に乗ってくれます。また主任児童委員は、主に子どもの健全な成長について相談に乗り、必要な助言を与えてくれます。相談したいことなどがありましたら、お気軽に担当区域の委員までご相談ください。

なお、民生委員・児童委員と主任児童委員の任期は三年となっており、今回の改選により、民生委員・児童委員は五十一人、主任児童委員は四人の方に委嘱しました。



委嘱状の伝達

民生委員・児童委員名簿

吾川地区		池川地区		仁淀地区	
受持区域	氏 名	受持区域	氏 名	受持区域	氏 名
大板	船坂 一男	上土居（第1・第2）・北浦・川内谷	友高あゆみ	大蔵・柚ノ木谷・松尾・東村上・東村下・西条	植田 和生
峯岩戸・岩戸	尾崎 佐智	上土居（第3・第4・第5）・岩丸・官行	堀本ふみ子	奈呂・森引地・森土居・本町・下町・五味	谷脇井津子
寺村・蔵谷・寺村西浦	片岡 清爾	下土居	大田 幸子	湯ノ川上・湯ノ川下・梶屋敷・大内	片岡喜洋子
中村・葛原	片岡 晴彦	竹ノ谷	山口 福代	谷山・下川渡上・下川渡下・実間・中宮第1・中宮第2	田村 次男
大崎	岡林 照壽	相ノ谷・坂本	野村 久子	上川渡上・上川渡下・戸立	大黒 久美
藤ノ野・桜・鹿森・長屋	田代 正雄	白髪・寄合・ツボイ	角田ミサ子	西谷・中野・峰・矛石・高瀬本村・桂	大野久美子
田村・宗津・本村	谷内富士子	東竹ノ谷・池川大渡・明戸岩・大西	藤堂 壽美	大見槍・道芝・太田・沢渡・岩屋	中田智榮子
川口・相能・川口住宅	中川 久子	岩柄	山中 孝幸	別枝本村・霧之窪・芋生野・中村・都	西森 道
橘谷・引地・遅越・二子野	藤原 陽子	百川内・大野	大野 幾久	木半夏・宮首・中ノ瀬上・中ノ瀬下・古田・打置	古味 房子
加枝	高橋 幸恵	椿山	中内 福富	西古城山・東古城山・寺野・竹谷	小野 芳子
向口・久喜・上久喜・一ヶ谷	田村 敏子	用居・出丸・舟形	三浦 利勝	宮ヶ坪・日鉄宮ヶ坪・日鉄五味谷・五味谷・石井野	大野 孝美
橘・別枝口・秋葉口・鷺ノ巣	小野 和子	桧谷・折尾・瓜生野	井上 兼春	形部・泉・折合・大植・太郎田・白石川	西森 君香
大尾・森山・森山団地	掛水 笑子	大平	岡部 倉繁	(主任児童委員)	齋藤 広恵
濃溜・峠ノ越・大渡	日浦 雅澄	楮原	岡本 好子	退任者 片岡富士子 藤原 勉 鎌倉 竹義 中川サヨ子 山中 保一 西森 道信 田村 名香 岩本 善子 掛水ゆかり	
竹屋敷・名野川・名野川大平	片岡百合子	日浦・見ノ越	鈴木 純子		
正ノ石・崎ノ山	片岡 玉喜	余能・成川	酒井美佐子		
北川・下北川	鎌倉 健吉	入江谷・安居土居	安中美喜子		
二ノ滝・向・土居・中	中川トキミ	吉ヶ成・坪井川・宮ヶ平	窪内ミネコ		
斧ノ谷・松木・上屋敷・津江・長坂	川村 忠子	大屋・樫山	青木 順次		
上名野川	片岡佐代子	(主任児童委員)	上尾 鈴美		
(主任児童委員)	岡林れい子	(主任児童委員)	馬詰 正		
				岡林 康夫 中越 信男 西森 龍瑞 掛水 光枝 吉岡八重子 竹村 珠紀 中川なるこ 三本 勇 金尾 大藏	

健康で心豊かに…

池川成人・高齢者大学全日程終了

9月20日から7回にわたって行われた「池川成人・高齢者大学」が、11月29日に最終日を迎えました。健康で心豊かに、生きがいを再認識しようという講座に、町内から延べ216人が参加しました。

初日の魚釣り教室のほか、数を使った頭の体操や、小学校で児童と一緒に授業を受けるなど多彩な講座が続き、最終日は五台山竹林寺住職による講演が行われました。

住職は「急速に動いていく現代社会の中で、人生とは生涯に渡って自分を見つめ、修行して行く場である」という内容を、ユーモアを交えながら講演し、参加者は心温まる話に聞き入っていました。



小学校1年生と一緒に授業を受ける受講者

** 陶芸教室 **



世界に一つだけの
作品づくり

十一月十五日から十二月六日の間、四回に渡り陶芸教室が池川地区の施設を使って行われ、町内から参加した十五人は、おわんや花瓶など思い思いの作品づくりに挑戦しました。

一足早いクリスマス

町内出身の音楽家らがコンサート



12月16日、池川コミュニティセンターで、クリスマスコンサートが開かれ、一足早いクリスマス気分を満喫しました。

今回の出演者は、仁淀地区在住で沖縄三線愛好家の「イラヨイの会」、仁淀地区出身でテノール・ソリストの合田圭吾さん、吾川地区出身のピアニスト宮崎愛弓さん、高知市を中心に活動している社会人マンドリンオーケストラの「高知マンドリン土曜日会」の皆さん。

「イラヨイの会」は「涙そうそう」などを演奏、宮崎さんのピアノで合田さんが「千の風になって」などを熱唱したほか、「高知マンドリン土曜日会」は「ジングルベル」などのクリスマスソングほかを演奏しました。

素晴らしい音色や歌声に、会場を埋めた人々は聞き入り、クリスマスモードいっぱいの楽しいひとときを過ごしました。



合田圭吾さんと宮崎愛弓さん



イラヨイの会の三線演奏



高知マンドリン土曜日会

雨ヶ森登山 池川中学校

十一月十三日に三年生が雨ヶ森登山をしました。生徒の作文(抜粋)をご紹介します。

雨ヶ森を見上

げると、思っていた以上に高くびっくりしました。上を見ると坂が急そうで、森に囲まれていました。気合いを入れて登らないといけないと思いました。最初、登っている時は、楽でどん



んどどこでも行けそうで、風景を見ながら楽しむことができました。しかし、どんどん行けそうだった足が、後半の登山道の中、重くなりました。風景も同じに見えて、同じ道を何回も通っている気がしてきました。そして、登っている内に山の頂上に向かっていくのが急な坂が見えました。ここからまた登るのかと思うとよけい大変そうだなと思いました。ついに頂上に登った時、疲れを忘れました。雨ヶ森の頂上から見る景色は、三六〇度きれいでした。

下りる時はすぐ足が軽く、今までの風景を見ながら行きました。

雨ヶ森登山は、苦勞したけど、本当にいい思い出になりました。

吾川中学校

学習文化発表会 >>>

11月11日、玄蕃太鼓の勇壮な響きがとどろきわたる中、吾川中学校学習文化発表会がスタートしました。



今年音楽発表の部を中心におきながらも総合的な学習の時間の発表、国語弁論、英語暗唱、文化部発表など少し幅の広がりを持たせた発表会となりました。

冒頭の玄蕃太鼓は保存会の皆さんにお世話になりながら、伝統芸能の継承の一環として取り組んでいるものです。ALTのゾイ先生も参加し練習の成果を十分に発揮することができました。

音楽発表については、今年は悪条件の中で中止にしようかという意見もありましたが、一週間の練習で校歌、学年課題曲、全校合唱曲と何とか仕上がりまでにこぎつけました。

国語の弁論は、各学年から一名ずつ選出された代表で行われ、部活動、職業体験学習、体育祭など身近な体験から感じたこと、得た感動などを発表しました。

英語の暗唱では、文章を記憶することに加えて発音指導も受けて生徒たちも相当に大変だったようでしたが、その取り組みの一生懸命さが伝わっていたようでした。

レベルアップしなければならない面も見えてきましたが、時間不足の中で一人何役もこなした生徒たちにとっては、充実した一日となりました。

生徒の自治の力が車いすに！ 仁淀中学校

十月二十九日に全校缶つぶし大会が行われました。これは、昨年の九月号でお知らせしたブルタブ・アルミ缶の回収の取り組みで、車いすと交換できる八百キを達成できる見通しとなり、最後を全校生徒の手でやり遂げようと生徒会が主催して行われたものです。

この集会でつぶしたアルミ缶は、約百キ。これまでのと合わせると約九百キとなり、生徒会の「本年度中に車いすと交換し

たい」という願いが達成された瞬間でした。届けていた車いすは、十二月二十一日にせいらん荘に寄贈させていただきました。

十二月二十日には、生徒会役員選挙が行われ、新しい執行部が誕生しました。新しい生徒会執行部にも、この取り組みを地域と協力し、地域に貢献する伝統として継承・発展させていくとともに、自分たちの自治の力で行事や取り

組みを成し遂げていく力を身に付けていってほしいと思います。



頑張る生徒たち

仁淀高校

○二十名の一年生は、ソフトボール・バドミントン・柔道などの部活動や生徒会活動等にほぼ全員が参加しています。四月から脱落者なく、継続して取り組んでいる姿勢は立派です。毎日の流す汗や培った力は自信と成果に直結します。基礎基本を大切に「三年後の稽古」に夢中です。

○三学年中最も少ない人数の十五名の二年生。元気のそろそろ三年生や一年生、それにPTAを抑え今年の体育祭総合優勝を果たしたのは立派です。総合優勝はパネル部門・応援合戦・競技部門の三種目の総合成績で競いますが、普段おとなしいと評価されている学年にもかかわらず、よく団結し力を出しました。今年も一段大きくなったように感じます。

○地域の人たちを迎え二十四名の三年生が全員で企画・運営したバドミントン大会。普段の学校生活で見えない一面を見ることができました。また少子高齢化により伝承が困難になりつつある民俗芸能である神楽に協力している生徒、新聞の読者の広場に投稿し自分の意見を発表する延べ二十三名の生徒、等々よく頑張っています。中でも、今年の進路状況では、本校にとって久しぶりに高知大学に一名、高知女子大に一名合格しています。自分の行きたいところに行くという進路実現を目指して、進学も就職もよく健闘しています。

○仁淀高校は、全校生徒五十九名の小規模校です。少人数を活用したきめ細かな取り組みは、五十九通りの日々の言動に表れています。地域の力を借りながら取り組んだ一年間、生徒一人一人の能力・個性の伸長に手応えを確信しています。

新年のごあいさつ

池川自然学園長 宇賀 孝敏

仁淀川町ならびに関係各位の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆さまからのご支援とご協力に関係者一同、心より御礼申し上げます。

平成5年に開園した自然学園は、今年の2月に16年目を迎えることになります。子どもに例えてみれば、義務教育を終了し、自立に向けて大きく成長していく年齢となります。学園も皆様方同様に、飛躍できるよう職員一同、頑張っ

てまいりますのでよろしくお願いいたします。

おかげさまで、この15年間で留学生の数は、延べ人数で300人を超し、わずかながらの実績を重ねることができました。特に昨年は中学2年生の女子の問い合わせが多く対応に苦慮しました。

思春期の真っ只中の子どもたち、向き合っていく難しさとやりがいを「仕事」としてとらえていくにはまだまだ未熟です。先代の園長は「留学生の親の気持ち（親業）になって向き合ってください」と笑いながらお話をされていたことを思い出します。

「時がたつのは早いもの」子どもたちが、日常生活からより多くの良い経験を積み重ね、成長できることを祈念し、新年のごあいさついたします。



中学生の田舎暮らしに乾杯！

